

参考資料

村上臨時議員提出資料

(地域再生担当大臣)

平成17年10月18日

地域の知の拠点再生プログラム(仮称)の検討の概要

府省間連携による支援の充実・重点化

- 第3期科学技術基本計画の策定に向けた検討の中で、地域の大学の活性化と活用(地域の知の拠点再生プログラム(仮称))を位置づけ【総合科学技術会議】
- 平成18年度の科学技術振興調整費の概算要求方針において、新規プログラムの対象の一つとして、「地域科学技術の振興(地域の大学等を活用した取組等)」を検討【総合科学技術会議】
- 各省庁の概算要求等において、関連する施策を位置づけ(主な取組を例示)
 - ・現代的教育ニーズ取組支援プログラム、医療人教育支援プログラム、産学官連携活動高度化促進事業、地方大学の施設の再生【文部科学省】
 - ・地方大学等の知的・人的資源活用による農林水産研究の実用化促進、地域におけるバイオマス利活用システム構築の支援【農林水産省】
 - ・地域の産学官連携による優れた実用化技術開発(防災・安全、基盤再生・革新等)に対する支援【国土交通省】
- 地域の大学の「知の集積」等の公開やこれを活かした新たな観光の振興【文部科学省・国土交通省】、地域の観光を担う人材の育成支援【国土交通省】
- 地域の創意工夫による実践的な都市再生活動を支援【都市再生本部】
- 地方公共団体と地域の大学との連携の推進【総務省】

大学等への民間資金の誘導

- 地域と連携する大学等の資金調達的手段を充実

今後の進め方

- ・地域の声に基づき支援すべきテーマを精査し、各省庁に支援措置の充実を要請
- ・予算編成過程を通じて関係省庁と調整するとともに、総合科学技術会議における検討を踏まえて、来年1月を目途に支援措置のパッケージを決定(地域再生基本方針を改訂)

1. 総合科学技術会議における議論

本年6月の総合科学技術会議において、薬師寺議員から、「地域にとって意義ある取組みをしている大学を支援し、力強い人材を地域に残していくことが大学改革の大きなテーマであり、こうした問題について、地域再生本部と相談し、また、文部科学省とも連携して進めていきたい」との問題提起がなされた。

7月から9月にかけて行われた同会議の基本政策専門調査会において、第3期科学技術基本計画の策定に向けた検討の中で、地域の大学の活性化・活用(地域の知の拠点再生プログラム(仮称))(別添参照)を位置づけ。

2. 関係3大臣会合の開催

上記の問題提起を受けて、8月11日に村上地域再生担当大臣、中山文部科学大臣、棚橋科学技術政策担当大臣の3大臣による会合が持たれた。

この会合において、

地域再生担当、文部科学、科学技術政策担当、の3大臣が、地方大学の活性化に向けて連携する。

広く他省庁に声をかけて、政府全体で地方大学の支援方策を検討することについて、合意を得ている。

地方の大学等の活性化・活用による地域再生の推進のイメージ

別添

政府全体の視点：モノから人へ。公共投資から技術・人材へと予算の重点を移し、競争力を強化。
地方の大学等は、地域にとっての知的・人的資源であり、地域全体の発展にもっと寄与すべき。
(地方の大学等を核とした知識・人材と地域活力の好循環の形成)

